

1 研究主題

コミュニケーション能力と豊かな国際感覚の育成

<今年度の研究主題>

- ・ 目的・相手意識を明確にした必然性のある単元を構成し、「思考力・判断力・表現力」を高める言語活動に取り組んだり、他教科と関連した学習活動を展開したりすることを通して、児童のコミュニケーション能力を向上させる。
- ・ 児童一人一人の様子を見取る評価方法を工夫することで、児童の表現力の正確さを向上するとともに、教師の授業力を向上する。

2 研究の具体

① 話すこと（やり取り）の小中連携

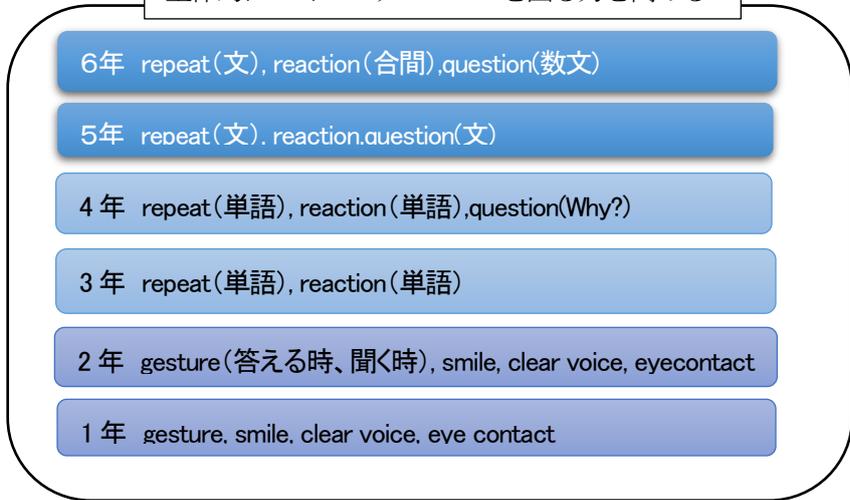
1年間の帯活動で、既習事項を用いてやり取りをする“Small Talk”の場面を設定する。

中学校	身近なことから社会的なことまでを話題にしてやり取りをする。(予定・災害時の対応など)
-----	--



小学校	自分のことを話題にしてやり取りをする。(好きなもの、夢、したいことなど)
-----	--------------------------------------

主体的にコミュニケーションを図る力を高める



② 目的・相手意識を明確にした必然性のある単元を構成

教科書や副教材で学習した表現を使って、身近なことを話題にした単元構成の工夫
 4年「直島ワードをあつめよう」 5年「直島農場の動物」 中学校「将来の夢」

3 研究の検証及び改善の手立て

<課題>

- ① 系統性を意識したやり取りの指導 ⇒ 表現例を作り、具体的につけたい力を示すことで意識して指導することができるようにする。
- ② 評価方法の工夫（思・判・表） ⇒ ICT等を活用しながら、児童の活動の姿を見取る方法を探る。